

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ(新松戸南校)

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0	・もう少し広く使えると良い	・安全に運営できるようにスペースの確保をしていく
	2 職員の配置数は適切である	6	1	0	・基準以上に人員は欲しい	・負担が一部に偏らないように配慮して運営していく ・人員の確保を行う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	0		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	・教室会議を中心に随時出し合っている	・会議以外の改善点について常に話し合いが出来る状況を継続していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	・毎年実施している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	・毎年ホームページにて公表している	・発信方法や時期の周知にも力を入れていく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	0	・行っていない	・第三者による評価は実施していない ・それに代わることを法人内で継続していけるようにする
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・必修の虐待防止研修の他にも研修がある	・外部の研修にも引き続き積極的に参加していく
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・面談の実施と職員間の共有がある	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	・教室会議で話し合いをした上で決めている	・今後もアイデアを出し合いながら決定していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・話し合い、分担して工夫している	・会議等で話し合い、違った角度からのアプローチを継続していけるようにする
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	・長期休みにはその時にしかできない活動を取り入れている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・状況に応じて個別の活動も実施している	・引き続き組み合わせを検討しながら作成していく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・毎回ミーティングを実施している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	・支援終了後細かく記入し、次回の支援に繋げる	・共有された情報を次回の支援につなげられるよう意識していく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・利用時の詳細を記入している	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2	0		・基本活動の組み合わせを工夫していく	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	7	0	0	・積極的に連絡を するようしている	・テスト期間や早帰りの日の確認を継続する ・本人の様子に配慮していけるようにする
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3	2	2	・現時点で該当児童なし	・必要に応じておこなえるよう検討していく
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	・園によっては共有が 難しいケースもある	・必要に応じて行えるよう 準備しておく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	2	5	0	・情報を求められない	・必要に応じて行えるよう 準備しておく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	7	0	0		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	4	・外出することでコミュニ ティに参加している	・元々このような機会を作ることが難しい面があるが 検討していく
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	4	0	・機会があれば参加 している ・コロナ前は参加してい た	・積極的に参加をして支援の向上に努めていく
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7	0	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4	3	0	・アドバイスは行っているが、ペ アレントトレーニングと言えるか 分からない	・職員が自信を持って受け答えできる研修や勉強会を実施で きるように努める
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	・契約時に行って いる ・質問があればその都 度応じている	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	7	0	0	・その都度相談に応じて いる	・引き続き継続していく
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	3	4	0	・今は行えていない	・わくわくカフェの再開等を検討する
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	6	1	0	・すぐに対応している	・引き続き継続していく
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	2	0	・ホームページやメールで 情報発信をしている	・おたよりやブログ等様々な ツールで発信していけるようにする
	35 個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	4	2	2		・個人情報の観点から難しい面もあるが 検討していきたい

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	5	2	0		・保護者へ周知するには不足している部分があるため 今後検討や改良をしていく
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・様々な災害を想定した 訓練を実施している	・年2回以上様々な訓練を企画しているので 周知していくようにする
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	7	0	0	・毎年必ず全員が受講 する機会を作っている	・今後も継続し、教室として虐待防止に努める
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	5	2	0	・現状対象者はいない が、規定はしっかりと作 られている	・委員会の規定など職員に周知を進めていく
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0		・引き続き継続し、情報共有の 徹底がなされるようにする
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	7	0	0	・記録を全員で共有し 再発防止につなげてい る	・記録の周知、共有を職員に徹底して 引き続き再発防止に努めていく